

第9回 団結祭典へ

日刊 動労千葉

87. 10. 29
No. 2690

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二・二二七・七〇七

家族揃って参加しよう！

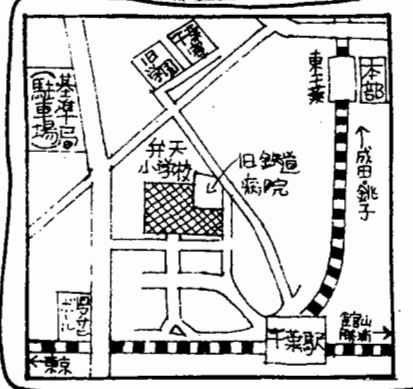
労使一体のJ.R運動会なんかぶつこばせ

11月3日 9:30 開会



会場御案内

場所 井天小学校（旧鉄道病院ウラ）
※なお、駐車場については、元の労働基準局を借りてあります。徒歩で約五分位で会場に行けます。



故 関川率前委員長の逝去を悼む

佐倉支部

動労千葉の委員長として、あらゆる集会でナツバ服姿の似合う関川さん、権力・当局、動労革マルを弾劾されていた関川前委員長、三里塚現地集會での発言や、動労千葉支援集会でたえず闘いを訴えられた関川委員長、あの勇姿が昨日のように思う。

思えば、一九七三年の動労千葉地本定期大会は、青年部常任委員会の統制処分をめぐり、地本役員が決まらないという中で、会場を出され、勝浦海岸で続回大会が続けられ、関川さんが委員長を引き受けられ、新生千葉地本が誕生した。それ以降、青年部問題、ジェット闘争、動労革マルとの組織争闘戦、動労千葉結成、三里塚現地集會・・・あらゆる集會に関川委員長の勇姿があり、決意表明があつた。

佐倉支部にとっては、動労千葉分離独立時、動労「本部」についた、佐倉前支部役員、山下庄一郎、土屋粹、鈴木正広らの、動労「本部」革マルへの佐倉支部売りわたしに対して佐倉OBへのオルグ、支部へのオルグ、佐倉支部結成に大きな支

えをしていただいた。佐倉支部結成大会での姿は忘れられません。また、ジェット闘争時の「ハンドルを持つて闘う」路線転換時も、何度となく佐倉支部にこられ熱弁をふるわれたのも、ついこの間のように感じられる。一九七八年の津山全国大会も、動労革マルの動労千葉を会場から暴力的にたたきだそうとした時、身を程して怒られたのを思い出します。

そして、何よりも、動労革マルの頭目松崎明に対するものすごい怒りをもつておられた。三年前に動労千葉委員長を勇退され、新たな国鉄労働運動の再成に指導性を発揮すべく、いままでの疲れを癒やしておられたが、志半ばにしてこの世を去らざるを得なかつたその無念を考えると、我々がその関川前委員長の意志を継いで、必ずや国鉄労働運動の戦闘性の再成、すなわち、動労革マル解体、鉄道労連解体を決意し、実現しなければならぬ。

佐倉支部は、関川前委員長の意志を我がものとして、動労千葉の先頭で闘うことを関川さんの霊前に誓う。